


【件名】	路面補修工事(4北北の17・歩道改善)	【事務所名】	北多摩北部建設事務所	
【工事場所】	東京都東村山市秋津町一丁目地内	【受注者名】	株式会社 富士土木 東京支店	
【工期】	令和5年3月13日から令和6年3月8日まで	【主たる技術者名】	監理技術者 田中 忠昭	

## 【工事概要】

本工事は、路面の劣化に伴う路面補修工事に合わせて、歩道勾配を緩やかにするために車道の高さを上げ、乗入部の構造を変更することで、歩道における歩行性の向上を期待する目的の歩道改善工事である。

## 【表彰理由】（※発注者側評価）

平坦性などの舗装の仕上がりが非常に良好であるとともに、完了検査資料の品質管理記録も非常に良好であった。また、沿道への車乗入れ部において、ガソリンスタンドやドラックストアがあったが、施工手順や施工時期を綿密に調整し、工程に大きな支障を与えなかった。街きよ前の車道舗装へのすりつけ舗装について、すりつけ端部に窪みを設けることや、材料をポーラスアスファルトにすることで、排水性を考慮するなどを提案し、実施した。



施工前



施工後

## 【受注者の声】

## ◇ 苦労した点

縦横断計画にあたり、道路が狭く縦断勾配がほとんどないなか、既設構造物や地先との取り合いや勾配を勘案しながら街きよの高さや歩道、車道高の計画に苦労した。

## ◇ 特に工夫した点

一般車両や歩行者の通行の妨げとならないようにしながら歩道や車道の嵩上げを行うため、段差摺り付けの範囲や材料、排水対策などを工夫して施工した。

## ◇ 現場で得られたやりがいや達成感

常に緊張感を持ちながら施工していたため、無事故で完工した時は大きな達成感と安堵感がありました。また結果として発注者より高評価を得たときはとても嬉しかったです。

## ◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと

どの現場も一つとして同じものがなく苦労がありますが、竣工の時の達成感や安堵感は大きいです。数年後に現場を通ると懐かしく思う事や経験が良い思い出になると思います



すりつけ舗装（ポーラスAs+端部に窪み）